

科目名		成人聴覚障害			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間	(1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科2年		必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕									
聴覚系、聴覚障害者等の基本的な知識、支援の理論と種類、評価方法や技術、臨床的意義などを理解し、聴覚障害者に対するリハビリテーションについての理解を深める。									
〔授業全体の内容の概要〕									
聴覚系、聴覚障害者等の基本的な知識、支援と関わり方の理論と種類、検査方法や技術、臨床的意義を学ぶ。									
〔講師の実務経験〕									
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕									
聴覚障害の特徴を理解し、典型的な症例について、リハビリテーションに必要な評価法、指導法を選択し、実施し、結果を評価できるようになる。									
回数	講義内容								
1	成人聴覚障害者のリハビリテーションに関わる専門職団体や連携について知る								
2	発症時期の違いによる評価上の特徴について理解する								
3	成人聴覚障害の評価内容を発症時期に応じた評価を理解する。								
4	コミュニケーション能力の評価の理解								
5	成人聴覚障害のコミュニケーション方法を理解し様々な支援内容を知る								
6	視覚聴覚二重障害（盲ろう者）について理解し、視覚障害についても理解を深める								
7	聴覚機能にかかわる支援や情報保障について理解を深め補聴支援システムを知る								
8	まとめ								

【 準備学習・時間外学習 】

--

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版		医学書院

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

試験の結果を100点満点として成績を評価する。試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。